

非血縁者間骨髄採取認定施設
採取責任医師各位
輸血責任医師各位

公益財団法人 日本骨髄バンク
ドナー安全委員会

骨髄採取マニュアル（バッグのシーリング方法）変更について（通知）

平素より骨髄バンク事業の推進に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
この度、標記について骨髄採取マニュアルを変更することとなりました。
つきましては、下記ご対応くださいますようお願い申し上げます。

記

1. 変更の経緯

チューブの断端は液漏れや感染を防ぐためにヒートシーリングする必要があるため、チューブシーラーを用いてのヒートシーリングが必須である旨を明記する。また、文言についても“シールド”より“シーリング”の方が適しているため、変更することとなった。

2. 骨髄採取マニュアル 変更箇所

(13) バッグのシーリング方法

ヒートシーリングはバッグの作成上、必須作業である。

シーリングに関しては、チューブシーラーの使用法を習熟すること。

1) 一番外側にヒートシーリングを行い、それより内側を1~2カ所結び目やクランプで留めること（図2）。

※移植施設において無菌接合器を使用する場合は、事前に採取施設に伝えること。

また、予定外に無菌接合器を使用する可能性もあるため、バッグから6cm以上離れた部分で留めることが望ましい。

リーク事故のあったシーリング（図1）と、別施設での正しいシーリング方法の一例（図2）を挙げる。



図1：リークし、しかも短く切断されたシーリングの例（黄矢印）

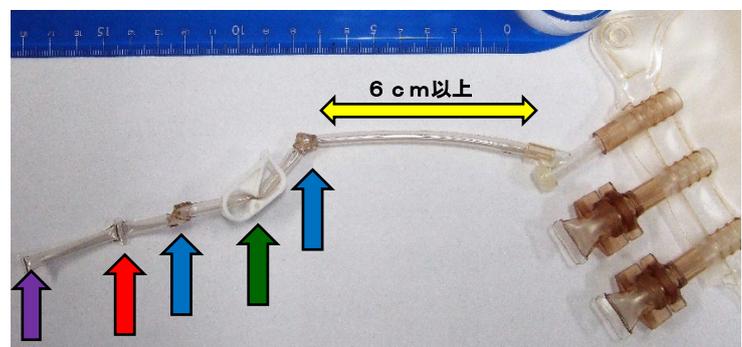


図2：正しいシーリングの一例 バッグから6cm以上離れた場所に、結び（青矢印）、クランプ（緑矢印）、結び、ヒートシーリング（赤矢印）、断端処理（紫矢印）が置かれている。

以上

骨髓採取マニュアル(2023/3/30) 新旧対照表

採取担当医師の見地から (13) バッグのシールド方法 (P11)

| 旧 | 改訂後 |
|--|--|
| <p>(13) バッグの<u>シールド</u>方法 <u>シールド</u>はバッグの作成上必須作業である。 <u>シールド</u>に関しては、<u>シーラー</u>の使用法を習熟すること。<u>不安があれば、単純確実な方法とともにシールドを使用する。(削除)</u> リーク事故のあった<u>シールド</u>方法(図1)と、別施設での正しい<u>シールド</u>方法の一例(図2)を挙げる。</p> <p>図1：<u>赤矢印は切断、リークしたシールドの位置。</u></p> <p>図2：正しい<u>シールド</u>の一例 バッグから6cm以上離れた場所に、結び(青矢印)、クランプ(緑矢印)、結び、<u>ヒートシール</u>(赤矢印)、断端処理(紫矢印)が置かれている。</p> <p>1) 一番外側にヒートシーリングを行い、それより内側を1~2カ所結び目やクランプで留めること(図2)。 ※移植施設において無菌接合器を使用する場合は、事前に採取施設に伝えること。また、予定外に無菌接合器を使用する可能性もあるため、バッグから6cm以上離れた部分で留めることが望ましい。</p> | <p>(13) バッグの<u>シーリング</u>方法 <u>ヒートシーリング</u>はバッグの作成上、必須作業である。 <u>シーリング</u>に関しては、<u>チューブシーラー</u>の使用法を習熟すること。</p> <p>1) 一番外側にヒートシーリングを行い、それより内側を1~2カ所結び目やクランプで留めること(図2)。 ※移植施設において無菌接合器を使用する場合は、事前に採取施設に伝えること。また、予定外に無菌接合器を使用する可能性もあるため、バッグから6cm以上離れた部分で留めることが望ましい。</p> <p>リーク事故のあった<u>シーリング</u>(図1)と、別施設での正しい<u>シーリング</u>方法の一例(図2)を挙げる。</p> <p>(写真変更)</p> <p>図1：<u>リークし、しかも短く切断されたシーリングの例(黄矢印)</u></p> <p>図2：正しい<u>シーリング</u>の一例 バッグから6cm以上離れた場所に、結び(青矢印)、クランプ(緑矢印)、結び、<u>ヒートシーリング</u>(赤矢印)、断端処理(紫矢印)が置かれている。</p> |

※骨髓採取マニュアル <https://www.jmdp.or.jp/medical/work/manual.html>

ご参考：骨髓バッグ シールド方法(無菌接合器の使用)について(通知)(2022.12.15) https://www.jmdp.or.jp/donor_safety/pdf/alert/2022121502.pdf